



大塚 よしゆき

小・中学校では卒業式が挙行され、児童・生徒の希望に満ちた表情に感動しました。その凛々しさに、これからの清須市を担う人材になることを期待しています。この清須市の宝でもある子ども達の学びの場を守り続けるため、学校施設における課題解決に努めなければなりません。

いよいよ桜の咲く季節を迎えますが、今年度は新たな気持ちで皆様方からいただいた“思いを力に”全力で突き進んでまいります。皆様方にはこれまで以上にご指導、ご鞭撻をお願いするとともに、大塚よしゆきへのご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

走れ!前に!

◆◆◆◆◆ 3月定例会一般質問 ◆◆◆◆◆

★学校施設の建替えについて

3年前も質問しましたが、特に清洲小の抱える教室不足問題など、課題は山積したままです。子ども達の学びの場を提供するためには、予想される人口・児童の増加に対し、実態を注視するだけでなく、学校施設の建替え・増築・再編など、具体的な策を講じ、課題解決に努めなくてはなりません。

大塚：小・中学校区ごとの児童・生徒数の現状と今後の推移について

学校教育課：西枇・古城・清洲東・新川・星の宮・桃栄小は、令和15・16年まで緩やかに減少し、その後はほぼ横ばいです。春日小は令和12年にピークを迎え、その後は緩やかに減少。清洲小は令和12年まで緩やかに減少し、その後令和19年まで増加に転じピークを迎え、その後は減少。西枇・新川中は令和18年まで微増微減を繰り返し、その後はほぼ横ばいです。春日中は、令和15年にピークを迎え、その後は緩やかに減少。清洲中は令和12年にピークを迎え、その後令和18年まで緩やかに減少し、令和23年に再度ピークを迎え、その後は減少していきます。

大塚：清洲小・清洲中のピーク時の人数と増加率・また、現状の校舎で対応できるかどうかについて

学校教育課：令和6年度の調査では、清洲小の令和19年の人数は、1,126人で現状に比べて9.2%増。清洲中の令和12年の人数は、780人で、10.7%増。令和23年の人数は742人で、5.3%増の見込みです。現状の校舎で対応が可能で、清洲小・清洲中ともに数クラスの増加を見込んでおり、現在の普通教室以外の教室を改装して対処します。

大塚：前回の質問から3年たちましたが、その間の学校施設の建替えや、学校区の再編に向けた具体的な取組について

学校教育課：「次期学校施設整備計画」策定に向け、令和6年度には将来児童数の推計や校舎の整備状況の整理、学校へのヒアリング等の調査を実施。令和7年度には校舎以外の構造物(体育館、プール等)の劣化状況調査を実施しました。

大塚：今後のスケジュールについて

学校教育課：令和8年度に新たに「学校施設あり方基本方針内部検討委員会」を設置し、「次期学校施設整備計画」の骨子となる学校施設の課題や改修に向けた考え方をまとめた「学校施設あり方基本方針」の策定を予定しています。

ヒアリング結果で、バリアフリー化、教室の収納スペース不足、インフラの老朽化などの意見があり、個別の課題として職員室や更衣室のスペース不足があげられています。検討会議において、多目的に使用できる教室の必要性やインフラの改善、現代の授業や児童数に合わせた教室サイズや設備についての意見があり、令和8年度開催予定の検討委員会での検討課題として整理していくことになります。

学校施設あり方基本方針内部検討委員会の構成員は、学識経験者、PTAの代表、学校長、教育委員会を予定しています。基本方針の内容については施設としての課題や考え方をまとめたものとなり、令和8年度に6回の内部検討会議と5回の検討委員会を経て、令和9年3月に「学校施設のあり方基本方針」を策定する予定です。



大塚：この課題に対する教育部と他の部局との連携について

学校教育課：これまでに土地区画整理についての情報提供を受けており、令和8年度には庁内意見調整会議(財政課、財産管理課、都市計画課、危機管理課、スポーツ課、児童保育課、高齢福祉課の参加を予定)を開催し、全庁横断的な情報共有と意見の聴取を行う予定です。



「学校施設のあり方基本方針」及び「学校施設整備計画」は本市にとって欠かせない、未来の子ども達に向けた重要な事業です。学校教育課が土地区画整理の情報を都市計画課から提供してもらったように、各課が適宜、全庁横断的な情報共有を行い、地域の実情に応じた様々な選択肢を検討し、教育現場が抱える課題を総合的に解決しながら、望ましい教育環境の実現に向けてこの計画に庁内を挙げて全力で取り組むことを要望しました。

★ ★ ★ ★ ★ 名鉄名古屋本線新清洲駅付近鉄道高架化事業 ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 及び 清洲駅前土地区画整理事業 ★ ★ ★ ★ ★

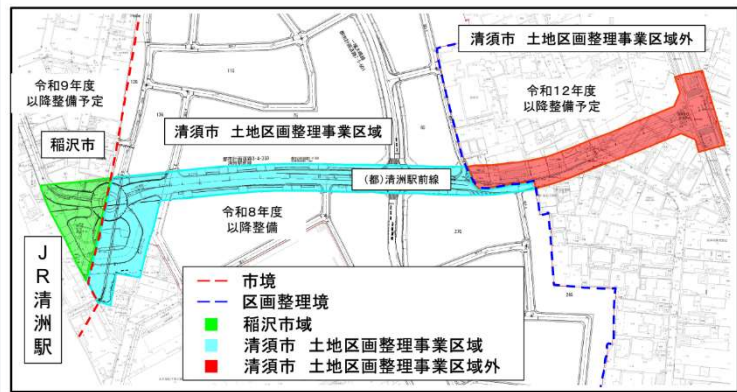
名鉄名古屋本線新清洲駅付近鉄道高架化事業 進捗状況について



清洲駅前土地区画整理事業 令和7年度工事状況



清洲駅前土地区画整理事業 清洲駅前線・駅前広場の整備



※都市交通の円滑化、踏切事故の解消、治水安全度の向上、及び地域分断のない良好な市街地形成を図るため、事業の早期完了に向けて国・県・市が連携し、この事業を進めていかなければなりません。(鉄道橋の改築もR8年5月頃から着手されます。)

※R10年度の事業完了を目指しています。清洲駅前線・駅前広場・ラウンドアバウトの整備により駅前にふさわしい空間が形成されます。事業の早期完了に向け、県・稲沢市と連携すると共に、引き続き JR 清洲駅西口開発(稲沢市内)についても働きかけます。

♡♡♡♡♡ よしゆきダイアリー ♡♡♡♡♡



2/15 清須市駅伝大会



2/21 清須をよくする会



3/1 国府宮はだか祭り



3/6清洲中学校卒業式



3/13 鉄道高架化事業工事説明会

発行元:大塚よしゆき「清須をよくする会」〒452-0941 清須市西市場 1-9-6 TEL・FAX052-400-7937
皆様の声を聞かせてください! よしゆきダイヤル:090-2575-8456 Email:otsuka.yoshiyuki0712@gmail.com HP はコチラ

